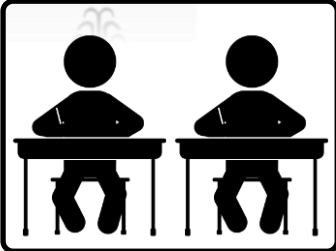




鴨居中だより

郵便番号 239-0813 横須賀市鴨居3-2-2
Tel (046)841-0442 Fax (046)841-0556
E-mail : admini@kamoi-j.yknet.ed.jp

【令和5年度 学校教育目標】
自分をみがき 自分を生かす
【自立】【共生】【貢献】
発行者 校長 星野洋司



『前期中間試験の終了は 前期期末試験への準備開始です！』

6月15日(木)・16日(金)の2日間で、今年度初となる定期試験(前期中間試験)が実施されました。1年生にとっては、初の定期試験となるため、学習計画(時間の使い方)や学習方法など、「どうしたら良いのか分らず」不安な部分がたくさんあったのではないのでしょうか。2・3年生は昨年までの経験があるため、ある程度の見通しを持って取り組むことができたと思っています。が中には、まだ「自分にあった学習方法」を試行錯誤している人もいるのではないのでしょうか。

そこで今回は、試験が終わったばかりではありますが、このタイミングを「前期期末試験への準備期間」と捉え、あえて伝えさせていただきます。(※これからのみなさんの学習に、何かプラスに・参考になればと思っています。必ず1回は読んでみてください。どうするかは判断は、その後でお願いします。)

今回は、返却されたテストの「結果分析」をおすすめします。実際の結果を見た際、「やはり、思ったより〇〇(ノ・ノ)だった」「平均点より〇〇(ノ・ノ)だ」と、『自分の結果(点数)』を重視している人がほとんどではないのでしょうか。

正直、そこに目が行くのは当たり前のことだと思っていますが、今回はテスト返却直後のタイミングで、ぜひ皆さんに試して欲しい・参考にして欲しい「家庭学習」があるので紹介させていただきます。それは、「何点取ることができたか」ではなく、逆に間違えたところに視点を置き、自分の『間違えた点数分析』を行って欲しいのです。分析方法は次の様に考えています。



【間違え点数分析方法】

- (1)「100点－自分の点数＝間違えた点数」 ※自分が何点間違えたのか確認する。
- (2)間違えた問題を確認する。
- (3)間違え(空欄含め)・自分の解答を確認し、分析する。
 - ※①：問題の出題内容がわからなかった点数
 - ※②：勉強不足(理解不足・勘違い)の点数
 - ※③：自分のミス(単純なケアレスミス)の点数
- (4)自分の弱点を具体的に分析する。(各教科ごとで、自分の弱点傾向が異なるため、しっかり押さえる)
- (5)自分なりの改善策を考える。(3・4の弱点を克服するための対策)
 - <例> ※授業の聴き方(姿勢含め) ※ノートの工夫(ただ黒板を写すのではなく…)
 - ※家庭学習の時間 ※テスト前の時間の使い方 など自分の分析を
- (6)自分の弱点を分析する。(メンタル面：自分に対する、自分の弱さ・ずるさ など)

人は、次の自分を発見するために「自分自身を知ること」も必要です。そのために、「良いところを褒めて伸ばす」ことも、「自分の弱点を知ること・認める」ことも、とても大切なことです。しかし、誰もが自分の弱いところは避けて通り、言い訳をしたがります。(私も同じです) あえて今回は、「逃がずに自分の弱点に目を向けて欲しい」と思い紹介をしました。

自分を知ること、「自分にとって必要なことは何か」を感じ、そこから『主体的に学びに向かう姿勢・気持ちも芽生えてくる』はずで。何も対策もなくただ「次は、頑張ります」と言っても、なかなか説得力はありません。

今回の話を聴いて、「なるほど!」「やってみよう!」と少しでも感じたなら、家に帰ったら早速「挑戦」してみてください。そして、自分の改善策に「挑戦」してみましょう。挑戦し、「ダメ(違う)」と感じたら、また違う対策を考えることで、自分の方法に近づいていきます。(正解は、自分で創るものですから) 時間を有効的に使いながら焦らないことも大切です。『必要性を感じたタイミングは、『最大のチャンス』となるはずで。』



◆◇将来の先生を目指して『教育実習生』◇◆

6月12日(月)～30日(金)の3週間、教員を目指した教育実習生が勉強にきます。ぜひ、みなさんの力を借りながら実習を成功させ、「よし、必ず教員になるぞ!」と、改めて強い決意を持てる実習になることを願っています。

- ①名前：川原 優太
- ②教科：社会科
- ③大学：田園調布学園大学
- ④目指した理由：中学生の時の部活動の顧問の先生に憧れました。
- ⑤目指す教師像：分りやすく楽しい授業ができ、社会の変動に対応できる先生。
- ⑥鴨居中生へ：みんなが眠くならない面白い授業を頑張って作っていきます。たくさんお話をしたいです。3週間の短い期間ですが、よろしくお願いします。

【鴨居中 小さなわくわく NO.7】『匠』プロフェッショナルの登場

今回の小さなわくわくは、鴨居中生の匠として『素晴らしい技(わざ)』を2つ、紹介させていただきます。

まずは、美術で行っている「水墨画」の授業(3年2組)を見に行った際、「校長先生!石橋さんの作品を見てください」と声をかけられたので、のぞき込んでみるとそこには、なんと筆で書かれた「クワガタが2匹」いたのです。その瞬間は、わくわくより『ゾクゾク』しました。(右の写真)

この日の授業は、水墨画に入る前の筆遣いの練習を行っていたのですが石橋くんは手先が器用でサッと書いたそうです。絵心のない私からしてみると、素晴らしい匠技を持っていて「羨ましい」と感じ、思わず「ください」とねだり、もらってしまいました。これからもどんな作品を書いてくれるのか、楽しみにしています。



【鴨居中 小さなわくわく NO.8】『匠』プロフェッショナルの登場

次に紹介する匠技は、写真を見て何だか分りますか? 画鋏の上に乗っているものと1円玉の横にあるもの(〇の中にあるもの)は、『折り鶴』です。この作品は2年4組安藤梨音さんが作ったものです。

道具を一切使用せず自分の手だけで、しかも私の目の前で作ってくれた鶴です。

今までも小さな折り鶴をいくつか見たことがあります。ここまで小さなものは初めてで、最初に見たときは、小さすぎて見えず目を疑ってしまいました。すぐに「もらっても良いですか?」と、おねだりをしてしまいました。

本当に小さすぎて、職員室で先生方に見せたときも「エッ!何ですかこれは?」「ピンセットを使って折るのですか?」と、ただただ驚いていました。本当に凄技『匠技』で、「素晴らしい」としか言いようがありません。



◆◇◇「匠コーナーのお知らせ」&「募集中」◇◇◇

【匠コーナーのお知らせ】

上でお知らせした「匠技」ですが、職員室前廊下に『匠コーナー(右写真)』として、作品を展示してあります。学校便りの写真紹介では伝えきれないので、実際に見ていただけたらと思っています。時間がある時にご自由にご覧ください。今回の折り鶴はとても小さいため、虫メガネも用意してあるので自由に使ってください。(右の写真でも分かりづらいので「百聞は一見にしかず」です。)

【匠募集について】

今回の2作品を紹介することができたのは、たまたま発見した「ラッキーな瞬間」があったからです。これからは、他の作品・特技なども「募集」していきたいと考えているため、遠慮せず声をかけてくれると嬉しいです。(どんなことでも構いません) 自薦・他薦どちらでも良いので、「匠コーナー」を盛り上げて行きましょう。鴨居中ならではの『楽しい、わくわく』を作りたいと考えているので、ご協力をお願いします。

